

設置の趣旨等を記載した書類 資 料 目 次

- 資料 1 令和 3 年度文部科学白書（抜粋）
- 資料 2 大学の数理・データサイエンス教育強化方策について（抜粋）
- 資料 3 あいちデジタル人材育成支援アクションプラン（抜粋）
- 資料 4 ディプロマ・ポリシー達成にむけた経営学部データ経営学科専門科目対応表
- 資料 5 経営学部データ経営学科カリキュラム・マップ
- 資料 6 履修モデル「経営・ビジネスリーダー育成志向」
- 資料 7 履修モデル「経営コンサルタント育成志向」
- 資料 8 履修モデル「事業・商品企画開発担当者育成志向」
- 資料 9 履修モデル「データ活用リーダー育成志向」
- 資料 10 経営学部データ経営学科ディプロマ・ポリシー対応ルーブリック
- 資料 11 経営学部データ経営学科必修科目一覧
- 資料 12 選抜方法とアドミッション・ポリシー
- 資料 13 学校法人名古屋学院大学教員定年規程
- 資料 14 経営学部時間割

第5章

高等教育の充実

総論

グローバル化や少子高齢化の進展に加えて、Society 5.0の実現に向け大きな産業構造、社会構造の変化が予測される中、我が国は持続可能で活力ある社会を目指した変革を成し遂げなければなりません。そのために、大学をはじめとする高等教育機関は、我が国及び国民が直面する課題にしっかり応えていく重大な責務を有しているということを認識し、国民や社会からの期待に応える改革を主体的に実行することが求められています。

文部科学省は、教育再生実行会議や中央教育審議会等における議論を踏まえ、今や待ったなしの状況にある高等教育改革の着実な実現に取り組んでいます。あわせて、医療人や法曹などの専門人材の養成や、地域医療の中核としての大学附属病院の機能強化、質の高い実践的な職業教育を行い、専門職業人を養成する高等教育機関として専門職大学等の振興、高等専門学校や専門学校の充実など高等教育の多様な発展のための様々な取組を推進しています。

さらに、子供たちが経済的事情により進学を断念することのないよう、授業料等減免や奨学金制度の充実などの修学支援に取り組むとともに、学生の就職活動への支援やキャリア教育の充実に向けた支援も行っています。

第1節

高等教育施策の動向

1 コロナ禍における高等教育

令和3年度は、世界全体が新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機に直面し続ける中、我が国の高等教育も大きな影響を受けました。この誰も経験したことのない危機を克服するためにも、優れた人材を育成し、社会にとっての知の拠点となる高等教育機関の役割は一層重要なものとなっています。眼下のコロナ禍への対応と同時に、Society 5.0時代に向けた大学教育の質の向上と教育研究基盤の強化を図るためにも、ポスト・コロナを見据えた、より望ましい高等教育の在り方について、引き続き検討を深めていきます。

2 2040年に向けた高等教育のグランドデザイン

平成29年3月6日の中央教育審議会総会において、文部科学大臣から「我が国の高等教育の将来構想について」諮問が行われ、「第4次産業革命」の進展や、本格的な人口減少社会の到来など経済社会の大きな変化の中で、高等教育機関が求められる役割を真に果たすことができるよう、おおむね2040年頃を見据えた、これからの時代の高等教育の将来構想について総合的な検討を要請しました。本諮問を受け、中央教育審議会では、大学分科会将来構想部会を中心に約1年8か月にわたって審議を進め、平成30年11月26日に「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（以下、「答申」という。）を取りまとめられました（[図表 2-5-1](#)）。

答申では、2040年頃の社会変化の方向として、持続可能な開発のための目標（SDGs）、Society 5.0・第4次産業革命、人生100年時代、グローバル化、地方創生の五つを挙げていますが、まだ私たちが想像もできないような社会が待っているかもしれません。しかし、予想不可能だからこそ、知識を組み合わせる新しいものを生み出していく力が社会の支えになると考えられます。答申では、このような視点に立って、2040年の社会に向けて日本の高等教育に期待される役割を説明しています。

また、答申では、これからの高等教育改革の指針として位置付けられるべきものとして、今後実現すべき方向性を三つ提示しています。

1. 学修者が「何を学び、身に付けることができるのか」を明確にし、学修の成果を学修者が実感できる教育を行うこと。このための多様で柔軟な教育研究体制が準備され、このような教育が行われていることを確認できる質の保証の在り方へ転換されていくこと。
2. 18歳人口は、2040年には、88万人に減少し、現在の7割程度の規模となる推計が出されていることを前提に、教育の質の維持向上という観点からの規模の適正化を図った上で、社会人及び留学生の受入れ拡大が図られていくこと。
3. 地域における高等教育のグランドデザインが議論される場が常時あり、各地域における高等教育が、地域のニーズに応えるという観点からも充実し、強みや特色を生かした連携や統合が行われていくこと。

この方向性に基づいた高等教育改革が2040年までに実を結び、教育と研究の機能が十分に発揮された高等教育を通じ、我が国そのものが新しい価値を生み出す国へと発展していくことを期して、必要な政策が着実に遂行されていくことを求めています。

図表 2-5-1 2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）【概要】



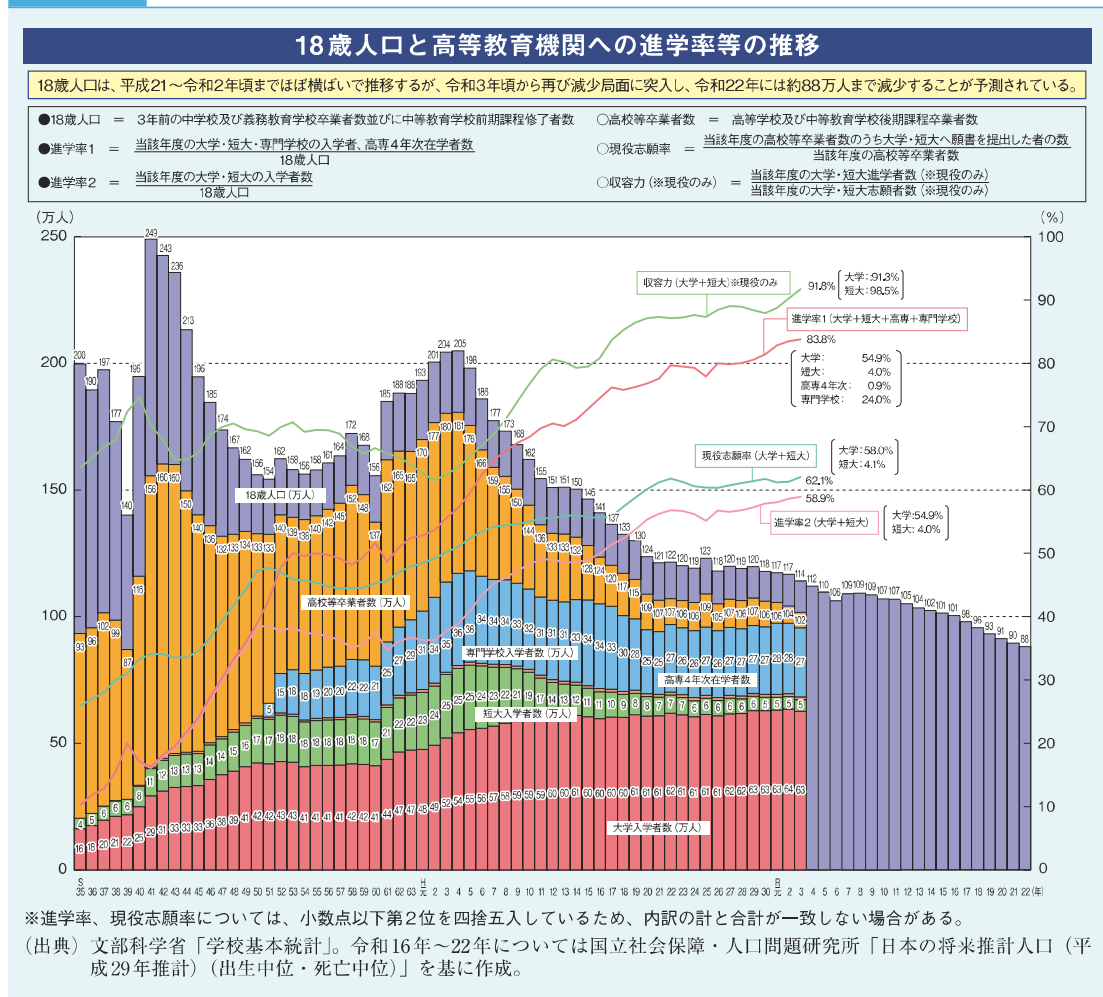
3 令和3年度の大学改革の動向

我が国社会のあらゆる側面において、かつて経験したことの無いスピードで大きな変化が

進行しています。例えば、IoT（Internet of Things）、ビッグデータ、人工知能などの「第4次産業革命」のイノベーションを社会実装する「Society 5.0」の実現は、既存の産業構造、就業構造、更には人々の生活を一変させる可能性があることが指摘されています。このような経済社会の変化やグローバル化の急速な進展、本格的な人口減少社会の到来の中で、一人一人の実りある生涯と我が国社会の持続的な成長・発展を実現し、人類社会の調和ある発展に貢献していくためには、人材育成と知的創造活動の中核である高等教育機関が一層重要な役割を果たすことが求められます。とりわけ、今後の人材育成においては、新たな知識・技能を習得するだけでなく、学んだ知識・技能を実践・応用する力、更には自ら問題の発見・解決に取り組む力を育成することが特に重要となっています。このことを通じて、自主的・自律的に考え、多様な他者と協働しながら、新たなモノやサービスを生み出し、社会に新たな価値を創造し、より豊かな社会を形成することのできる人を育てていかなければなりません。

我が国の高等教育機関への主たる進学者である18歳人口の推移を見ると、平成4年の約205万人をピークに減少しており、令和3年に約114万人の18歳人口が、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、令和22年には88万人に減少すると試算されています（図表2-5-2）。また、経済開発協力機構（OECD）の調査によると、令和元年の我が国の大学学士課程又は同等レベルへの進学率は49.8%であり、OECD平均と同水準です。さらに、専門学校等も含めた高等教育機関全体への進学率は72.3%であり、OECD平均の56%を上回っています（図表2-5-3）。

図表 2-5-2 18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移



【資料2】

「大学の数理・データサイエンス教育強化方策について」（文部科学省）より抜粋（https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/080/gaiyou/_icsFiles/afiedfile/2016/12/21/1380788_01.pdf）

1. 大学における数理・データサイエンス教育強化の必要性

第5期科学技術基本計画（平成28年1月閣議決定）においては、ネットワーク化やサイバー空間利用の飛躍的発展といった潮流を踏まえ、ICTを最大限に生かした新しい価値やサービスが次々と創出され、社会の主体たる人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」が未来社会の姿として示されるとともに、こうした社会を世界に先駆けて実現するための取組の強化、社会における新しい価値・サービスの創出に向けた技術基盤の強化、人材育成の必要性が示されている。

このような未来社会においては、広範囲かつ目的に整合したデータの取得を前提として、それらのデータに内在する本質的構造を見極め、数理的思考に基づいて解析・問題解決を行う能力、データサイエンスを活用して新たな価値を生み出し、有用なシステム構築につなげる能力が求められる。これらの能力の活用は、AI、ロボットやセンシングなどの理工学を中心とした分野のみならず、学問領域を超えて、法律、金融・保険、健康・医療、災害対策など社会における様々な分野の発展に大きく寄与するものとして期待されている。

既に現代においても、データが豊富に入手できる時代となっている中で、データとアナリティクスを用いた意思決定を行う企業の割合が世界平均61%であるのに対し、日本は40%と低い状況である*。今後、世界ではますますデータを利活用した新産業創出や企業の経営力・競争力強化がなされることが予想され、データの有する価値を見極めて効果的に活用することが企業の可能性を広げる一方で、重要なデータを見逃した結果として企業存続に関わる問題となる可能性もある。

例えば、データから新たな顧客ニーズを読み取って商品を開発することや、データを踏まえて効率的な資源配分や経営判断をするなど、データと現実のビジネスをつなげられる人材をマスとして育成し、社会に輩出することが、我が国の国際競争力の強化・活性化という観点からも重要である。

このため、数理的思考力とデータ分析・活用能力を持つ人材の育成が必須となっており、社会に価値やサービスを生み出すという目的に合致した大学教育システムの構築が必要である。

このような幅広い分野で活躍する新しい人材の供給により、超スマート社会の実現及びその社会における競争力の向上を目指すものである。

*出典：GEグローバル・イノベーション・バロメーター 2016年世界23か国の経営層の意識調査

資料 3 : 「あいちデジタル人材育成支援アクションプラン」(抜粋)

1. 書類等の題名

あいちデジタル人材育成支援アクションプラン

2. 出典

愛知県ホームページ「あいちデジタル人材育成支援アクションプラン」

3. 引用範囲

「<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/414139.pdf>」4 ページから 9 ページを引用・抜粋した。

【資料4】

ディプロマ・ポリシー達成に向けた経営学部データ経営学科専門科目対応表

①	建学の精神を実践し、社会が求める幅広い視野と教養を身につけ、社会やビジネスを取り巻く環境を理解し、自分事として捉える資質・能力を身につけている。
②	経営学、マーケティングなど経営に関する基礎的・専門的知識や理論を理解し身につけている。
③	経営に必要なデータを収集・分析・可視化する基礎的知識及び技能や能力を身につけている。
④	新たなビジネスの価値創造に寄与するために、修得した知識・技能を基に論理的に思考し、ビジネス上の問題・課題を発見することで、経営戦略の構築や意思決定に役立てることができる能力を身につけている。
⑤	適切かつ分かりやすく伝えることができるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身につけている。
⑥	主体的に問題・課題解決に向け取り組むことができる態度、および多様な人々と協働することができる能力を身につけている。

		知識・技能			思考力 判断力 表現力		主体性 多様性 協働性	
		DP①	DP②	DP③	DP④	DP⑤	DP⑥	
該当科目数→		23	71	64	69	37	38	
該当単位数→		46	142	128	138	74	76	
科目名								
基礎科目	ビジネス価値創造概論	○	○	○	○	○	○	
	経営学概論	○	○	○	○		○	
	データ経営入門		○	○	○			
	マーケティング概論	○	○		○			
	流通概論	○	○		○			
	経済学・経済政策		○	○	○			
	簿記・会計学概論		○	○	○			
	情報倫理	○		○	○		○	
	(9科目)		5	7	6	8	1	3
	(18単位)		10	14	12	16	2	6
専門科目	経営管理論		○	○	○			
	経営組織論		○	○	○			
	企業論		○	○	○			
	金融基礎論		○	○	○			
	経営法務		○	○	○			
	簿記A		○	○	○			
	簿記B		○	○	○			
	消費者行動論		○	○	○			
	イノベーション・マネジメント		○	○	○		○	
	ブランドマネジメント		○		○			
	マーケティング論Ⅰ		○	○				
	マーケティング論Ⅱ		○	○				
	マーケティング戦略演習		○	○	○	○		
	プロダクトプランニング		○	○	○			
	マーケティングリサーチ			○	○		○	
	ロジスティクス	○	○		○		○	
	流通システム論		○		○			
	リテールマーケティング		○	○	○			
	eビジネス概論		○	○	○			
	eコマース概論		○	○	○			
	情報社会論	○		○	○	○	○	
	経営のための基礎数学			○		○	○	
	経営のためのプログラミング			○	○	○	○	
(30科目)		2	20	20	20	4	6	
(60単位)		4	40	40	40	8	12	

		知識・技能			思考力 判断力 表現力		主体性 多様性 協働性			
		DP①	DP②	DP③	DP④	DP⑤	DP⑥			
該当科目数→		23	71	64	69	37	38			
該当単位数→		46	142	128	138	74	76			
科目名										
専 門 科 目	発 展 科 目	経営史		○	○	○				
		経営戦略論		○	○	○				
		生産管理論		○	○	○				
		中小企業論		○	○	○				
		リーダーシップ論		○		○	○	○		
		意思決定論		○		○	○	○		
		サービスマネジメント		○	○					
		国際経営		○	○			○		
		アントレプレナーシップ	○	○	○	○	○	○		
		スタートアップ実践	○		○	○	○	○		
		工業簿記		○		○	○			
		管理会計論		○	○	○				
		財務諸表論		○	○	○				
		財務諸表分析		○	○	○	○	○		
		コンピュータ会計		○		○	○	○		
		サプライチェーンマネジメント		○		○				
		コンテンツビジネス論		○	○	○				
		課題解決演習	○		○	○	○	○		
		マーケティング思考論	○	○	○					
		ソーシャルマーケティング	○	○		○				
		国際マーケティング		○	○					
		リレーションシップマーケティング		○		○	○			
		プロダクトディベロップメント		○	○	○				
		マーケティングコミュニケーション		○		○				
		デジタルプロダクトプランニング		○	○	○	○			
		インターネットマーケティング		○	○	○				
		マーチャンダイジング論		○	○	○				
		マーケティングインテリジェンス		○		○		○		
		データドリブンマーケティング		○	○	○		○		
		プロモーション演習		○	○	○	○			
		リテールマーケティング演習A		○	○	○		○		
		リテールマーケティング演習B		○	○	○		○		
		経営データマイニング		○	○		○			
		人事データ分析		○	○	○	○	○		
		企業・会計データ分析		○	○	○	○	○		
		経営統計学入門			○		○	○		
		経営統計学			○	○	○	○		
		経営データ分析基礎			○	○	○	○		
		経営データ分析			○	○	○	○		
		経営分析手法			○	○	○	○		
		意思決定分析			○	○	○	○		
		経営オペレーションズリサーチ			○	○	○	○		
				(49科目)	5	39	31	35	21	19
				(98単位)	10	78	62	70	42	38
		専 門 演 習 科 目	専 門 演 習 科 目	ビジネス価値創造学習	○		○		○	
				ビジネス価値創造演習Ⅰ	○		○	○	○	○
ビジネス価値創造演習Ⅱ	○			○	○	○	○	○		
ビジネス価値創造実践Ⅰ	○			○	○	○	○	○		
ビジネス価値創造実践Ⅱ	○			○	○	○	○	○		
論文作成指導	○			○	○	○	○	○		
卒業論文	○			○	○	○	○	○		
				(7科目)	7	5	7	6	7	6
		(18単位)	14	10	14	12	14	12		
自 由 選 択 科 目	異 文 化 理 解 科 目	海外事情1	○				○	○		
		海外事情2	○				○	○		
		海外事情3	○				○	○		
		海外事情4	○				○	○		
				(4科目)	4	0	0	0	4	4
		(8単位)	8	0	0	0	8	8		

【資料6】

経営学部データ経営学科の教育課程の履修モデル【経営・ビジネスリーダー育成志向】

科目群	分野	区分	必修/選択	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
経営学部データ経営学科 専門科目	ビジネス価値創造	基礎	必修	2	ビジネス価値創造概論								
		演習	必修	18		ビジネス価値創造学習	ビジネス価値創造演習Ⅰ	ビジネス価値創造演習Ⅱ 論文作成指導	ビジネス価値創造実践Ⅰ④		ビジネス価値創造実践Ⅱ④		
												卒業論文	
	経営	基礎	必修	6	経営学概論 簿記・会計学概論	経済学・経済政策							
		基幹	必修	4			経営管理論	経営組織論					
			選択	10		企業論 簿記A	金融基礎論 経営法務 簿記B						
		発展	選択	20				サービスマネジメント	経営史 中小企業論 アントレプレナーシップ 国際経営 コンピュータ会計	経営戦略論 リーダーシップ論 意思決定論 スタートアップ実践			
	マーケティング	基礎	必修	4	流通概論	マーケティング概論							
		基幹	必修	4			マーケティング論Ⅰ	マーケティング論Ⅱ					
			選択	4			消費者行動論	イノベーション・マネジメント					
		発展	選択	4				マーケティング思考論 国際マーケティング					
	経営分析手法	基礎	必修	4	データ経営入門	情報倫理							
		基幹	選択	0									
		発展	選択	10			経営統計学入門 経営データ分析基礎		人事データ分析 経営分析手法	意思決定分析			
	全学共通 教養スタンダード科目		必修	14	キリスト教概説1 基礎セミナー 情報処理リテラシー 日本語表現 基礎英語1① 英会話1①	キリスト教概説2 基礎英語2① 英会話2①							
選択			20	キャリアデザイン1a 【教養】文化人類学	発展セミナー キャリアデザイン1b データサイエンスリテラシー 【教養】哲学	キャリアデザイン2a 【教養】統計学	キャリアデザイン2b 【教養】心理学						
自由選択			10						(経営戦略論) (リーダーシップ論) (意思決定論) (スタートアップ実践) (意思決定分析)				
単位 集計	専門科目	必修	42	10	8	6	8	4 (前期、後期で2単位ずつ按分)		4 (前期、後期で2単位ずつ按分)			
		基幹		38単位 以上※3	0	4	8	2	0	0	0	2	
		発展	選択		0	0	4	6	14	10	0	0	
	NGU教養スタンダード	必修	14	10	4	0	0	0	0	0	0	0	
		選択	20	4	8	4	4	0	0	0	0	0	
	自由選択	選択	10※2						(10)				
	総計※3		124	24	24	22	20	16	12	2	4		
CAP (履修単位上限)			24	24	24	24	24	24	24	24	24		

※1 基幹科目は10単位以上、発展科目は経営、マーケティング、経営分析手法の各分野からそれぞれ4単位計12単位を含む18単位以上

※2 自由選択科目、NGU教養スタンダード科目及び専門科目の内、卒業兼単位数を超えるもの

※3 専門科目、NGU教養スタンダード科目から、卒業要件を超える単位数を()内に表示する

※3 科目名の後ろに、①が付してあるものは1単位、④は通年科目で4単位、その他は半期科目で2単位
自由選択は、自由選択科目、NGU教養スタンダード科目及び専門科目のうち卒業要件単位数を超えるもの

【資料7】

経営学部データ経営学科の教育課程の履修モデル【経営コンサルタント育成志向】

科目群	分野	区分	必修/選択	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
経営学部データ経営学科 専門科目	ビジネス価値創造	基礎	必修	2	ビジネス価値創造概論							
		演習	必修	18		ビジネス価値創造学習	ビジネス価値創造演習Ⅰ	ビジネス価値創造演習Ⅱ 論文作成指導	ビジネス価値創造実践Ⅰ④		ビジネス価値創造実践Ⅱ④	
	経営	基礎	必修	6	経営学概論 簿記・会計学概論	経済学・経済政策						
		基幹	必修	4			経営管理論	経営組織論				
			選択	10		企業論 簿記A	金融基礎論 経営法務 簿記B					
		発展	選択	22			工業簿記 コンテンツビジネス論 課題解決演習	サービスマネジメント 管理会計論	中小企業論 財務諸表論 コンピュータ会計	経営戦略論 意思決定論 生産管理論 財務諸表分析		
	マーケティング	基礎	必修	4	流通概論	マーケティング概論						
		基幹	必修	4			マーケティング論Ⅰ	マーケティング論Ⅱ				
			選択	4				流通システム論				
		発展	選択	4				マーケティング思考論				
	経営分析手法	基礎	必修	4	データ経営入門	情報倫理						
		基幹	選択	0								
		発展	選択	10			経営データ分析基礎	経営データ分析	人事データ分析 経営分析手法	企業・会計データ分析		
	全学共通 NGU 教養スタンダード科目		必修	14	キリスト教概説1 基礎セミナー 情報処理リテラシー 日本語表現 基礎英語1① 英会話1①	キリスト教概説2 基礎英語2① 英会話2①						
			選択	20	キャリアデザイン1a 【教養】文化人類学	発展セミナー キャリアデザイン1b データサイエンスリテラシー 【教養】哲学	キャリアデザイン2a 【教養】統計学	キャリアデザイン2b 【教養】心理学				
自由選択			10						(経営戦略論) (意思決定論) (生産管理論) (財務諸表分析) (企業・会計データ分析)			
単位 数集計	専門科目	必修	42	10	8	6	8	4 (前期、後期で2単位ずつ按分)		4 (前期、後期で2単位ずつ按分)		
		基幹 発展	選択	38単位 以上※3	0	4	6	2	0	0	0	2
	NGU教養スタンダード	必修	14	10	4	0	0	0	0	0	0	
		選択	20	4	8	4	4	0	0	0	0	
	自由選択		10※2							(10)		
	総計※3		124	24	24	24	22	12	12	2	4	
CAP (履修単位上限)			24	24	24	24	24	24	24	24		

※1 基幹科目は10単位以上、発展科目は経営、マーケティング、経営分析手法の各分野からそれぞれ4単位計12単位を含む18単位以上
 ※2 自由選択科目、NGU教養スタンダード科目及び専門科目の内、卒業兼単位数を超えるもの
 専門科目、NGU教養スタンダード科目から、卒業要件を超える単位数を()内に表示する
 ※3 科目名の後ろに、①が付してあるものは1単位、④は通年科目で4単位、その他は半期科目で2単位
 自由選択は、自由選択科目、NGU教養スタンダード科目及び専門科目のうち卒業要件単位数を超えるもの

【資料8】

経営学部データ経営学科の教育課程の履修モデル【事業・商品企画開発担当者育成志向】

科目群	分野	区分	必修/選択	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
経営学部データ経営学科 専門科目	ビジネス価値創造	基礎	必修	2	ビジネス価値創造概論								
		演習	必修	18		ビジネス価値創造学習	ビジネス価値創造演習Ⅰ	ビジネス価値創造演習Ⅱ 論文作成指導	ビジネス価値創造実践Ⅰ④		ビジネス価値創造実践Ⅱ④		
												卒業論文	
	経営	基礎	必修	6	経営学概論 簿記・会計学概論	経済学・経済政策							
		基幹	必修	4			経営管理論	経営組織論					
			選択	6		企業論	ブランドマネジメント	イノベーションマネジメント					
		発展	選択	6				サービスマネジメント	サプライチェーンマネジメント 中小企業論	経営戦略論			
	マーケティング	基礎	必修	4	流通概論	マーケティング概論							
		基幹	必修	4			マーケティング論Ⅰ	マーケティング論Ⅱ					
			選択	12			マーケティング戦略演習 消費者行動論 ロジスティクス	流通システム論 プロダクトプランニング マーケティングリサーチ					
		発展	選択	18				国際マーケティング論	リレーションシップマーケティング マーチャンダイジング論 マーケティングインテリジェンス マーケティング思考論	マーケティングコミュニケーション インターネットマーケティング データドリブンマーケティング			
	経営分析手法	基礎	必修	4	データ経営入門	情報倫理							
		基幹	選択	4			情報社会論						
		発展	選択	4			経営統計学入門 データ分析基礎	経営統計学					
	全学共通 NGU 教養スタンダード科目		必修	14	キリスト教概説1 基礎セミナー 情報処理リテラシー 日本語表現 基礎英語1① 英会話1①	キリスト教概説2 基礎英語2① 英会話2①							
選択			18	キャリアデザイン1a 【教養】社会学	キャリアデザイン1b 【教養】法学 【教養】統計学 【教養】心理学 【教養】文化人類学	キャリアデザイン2a	キャリアデザイン1b						
自由選択			10					(中小企業論)	(経営戦略論) (マーケティングコミュニケーション) (インターネットマーケティング) (データドリブンマーケティング)				
単位数集計	専門科目	必修	42	10	8	6	8	4 (前期、後期で2単位ずつ按分)		4 (前期、後期で2単位ずつ按分)			
		基幹											
		発展											
	NGU教養スタンダード	必修	14	10	4	0	0	0	12	0	0	0	
		選択	20	4	10	4	2	0	0	0	0	0	
	自由選択		10 ^{※2}						(2)	(8)			
	合計 ^{※3}		124	24	24	24	24	12	10	2	4		
CAP (履修単位数上限)			24	24	24	24	24	24	24	24	24		

※1 基幹科目は10単位以上、発展科目は経営、マーケティング、経営分析手法の各分野からそれぞれ4単位計12単位を含む18単位以上
 ※2 自由選択科目、NGU教養スタンダード科目及び専門科目内の、卒業兼単位数を超えるもの
 ※3 科目名の後ろに、①が付してあるものは1単位、④は通年科目で4単位、その他は半期科目で2単位
 自由選択は、自由選択科目、NGU教養スタンダード科目及び専門科目のうち卒業要件単位数を超えるもの

【資料9】

経営学部データ経営学科の教育課程の履修モデル【データ活用リーダー育成志向】

科目群	分野	区分	必修/選択	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
経営学部 データ経営学科 専門科目	ビジネス価値創造	基礎	必修	2	ビジネス価値創造概論							
		演習	必修	18		ビジネス価値創造学習	ビジネス価値創造演習Ⅰ	ビジネス価値創造演習Ⅱ 論文作成指導	ビジネス価値創造実践Ⅰ④		ビジネス価値創造実践Ⅱ④	
	経営	基礎	必修	6	経営学概論 簿記・会計学概論	経済学・経済政策						
		基幹	必修	4			経営管理論	経営組織論				
			選択									
	発展	選択	10			コンテンツビジネス論 課題解決演習	サービスマネジメント	サプライチェーンマネジメント	意思決定論			卒業論文
	マーケティング	基礎	必修	4	流通概論	マーケティング概論						
		基幹	必修	4			マーケティング論Ⅰ	マーケティング論Ⅱ				
			選択	2			ロジスティクス					
	発展	選択	6				プロモーション演習	デジタルプロダクトプランニング	インターネットマーケティング			
	経営分析手法	基礎	必修	4	データ経営入門	情報倫理						
		基幹	選択	10		eビジネス概論 経営のための基礎数学	eコマース概論 情報社会論	経営のためのプログラミング				
発展		選択	20			経営統計学入門 経営データ分析基礎	経営統計学 経営データ分析	経営データマイニング 人事データ分析 経営分析手法	企業・会計データ分析 意思決定分析 経営オペレーションズリサーチ			
全学共通 NGU 教養スタンダード科目		必修	14	キリスト教概説1 基礎セミナー 情報処理リテラシー 日本語表現 基礎英語1① 英会話1①	キリスト教概説2 基礎英語2① 英会話2①							
		選択	20	キャリアデザイン1a 情報英語1 スポーツ初級a	キャリアデザイン1b 情報英語2 【教養】法学 【教養】心理学 スポーツ初級b	キャリアデザイン2a 【教養】社会学	キャリアデザイン2b 【教養】環境学					
自由選択			10						(意思決定論 インターネットマーケティング) (企業・会計データ分析) (意思決定分析) (経営オペレーションズリサーチ)			
単位 数集計	専門科目	必修	42	10	8	6	8	4 (前期、後期で2単位ずつ按分)		4 (前期、後期で2単位ずつ按分)		
		基幹 発展	選択	38単位 以上※3	0	4	6	2	0	0	0	2
	NGU教養スタンダード	必修	14	10	4	0	0	0	10	10	0	0
		選択	20	4	8	4	4	0	0	0	0	0
	自由選択	選択	10※2						(10)			
	総計※3		124	24	24	24	22	12	12	2	4	
	CAP (履修単位上限)			24	24	24	24	24	24	24	24	24

※1 基幹科目は10単位以上、発展科目は経営、マーケティング、経営分析手法の各分野からそれぞれ4単位計12単位を含む18単位以上
 ※2 自由選択科目、NGU教養スタンダード科目及び専門科目の内、卒業兼単位数を超えるもの
 ※3 専門科目、NGU教養スタンダード科目から、卒業要件を超える単位数を()内に表示する
 ※4 科目名の後ろに、①が付してあるものは1単位、②は通年科目で4単位、その他は半期科目で2単位
 自由選択は、自由選択科目、NGU教養スタンダード科目及び専門科目のうち卒業要件単位数を超えるもの

【資料10】

経営学部データ経営学科ディプロマ・ポリシー対応ルーブリック

DP		評価の観点	S	A	B	C	
知識・技能	①	建学の精神を实践し、社会が求める幅広い視野と教養を身につけ、社会やビジネスを取り巻く環境を理解し、自分事として捉える資質・能力を身につけている。	知識 問題意識	建学の精神の意識を強く抱くとともにそれを実践する。また、社会環境・ビジネス環境の諸問題に対して関心と問題意識を持っている。さらに、諸問題に自身の専門分野のみならず、学際的観点から探求する意識がある。	建学の精神の意識を抱き、実践しようとする意欲がある。また、社会環境・ビジネス環境の諸問題に対して関心と問題意識を持っている。さらに、諸問題に自身の専門分野を中心に探求する意識がある。	建学の精神に関心を持っている。また、社会環境・ビジネス環境の諸問題に関心と問題意識を持っている。	建学の精神についての理解や社会・ビジネスについての知識・理解が不十分である。そのため、社会環境・ビジネス環境の諸問題に関心を持つに至らない。
	②	経営学、マーケティングなど経営に関する基礎的・専門的知識や理論を理解し身につけている。	知識	経営学、マーケティングを深く学ぶことで高度な知識と理論を身につけている。また、それを実践で柔軟に活用・応用することができる。	経営学、マーケティングを学ぶことで必要な知識と理論を身につけている。また、それを実践でどのように活用できるかを志向することができる。	経営学、マーケティングを学ぶことで必要な知識と理論を身につけている。	経営学、マーケティングの知識や理論の修得が不十分であるため、知識を活用することができない。
	③	経営に必要なデータを収集・分析・可視化する基礎的知識及び技能や能力を身につけている。	知識・技能	データの収集、加工、分析、可視化の手法の理解とそれに関わる知識と技術を身につけている。また、修得した知識や技術を実際の企業経営で活用することができる。	データの収集、加工、分析、可視化の手法の理解とそれに関わる知識と技術を身につけている。また、修得した知識や技術を実際の企業経営で活用しようと思えることができる。	データの収集、加工、分析、可視化の手法の理解とそれに関わる知識と技術を身につけている。	データの収集、加工、分析、可視化の手法の理解とそれに関わる知識と技術の習得が不十分である。そのため、理論とデータの融合による問題・課題解決につなげることができない。
思考力・判断力・表現力	④	新たなビジネスの価値創造に寄与するために、修得した知識・技能を基に論理的に思考し、ビジネス上の問題・課題を発見することで、経営戦略の構築や意思決定に役立てることができる能力を身につけている。	思考力	実際の企業経営において問題・課題を見つけ出し、その解決に向けた具体的思考や提案ができるビジネスの価値創造能力を身につけている。	実際の企業経営において、問題・課題を見つけ出し、その解決に向けた思考や提案に向けたビジネス価値を創造する意識を持っている。	実際の企業経営において、問題・課題を見つけ出すことができる。	企業経営の問題・課題を見つけ出すことができない。そのため、新たな思考や提案をすることができない。
			判断力	必要かつ正確なデータや情報を収集し、進めるべき企業経営や問題・課題解決策について論理的に思考し、総体的かつ柔軟な意思決定をすることができる。	必要かつ正確なデータや情報を収集し、進めるべき企業経営や課題解決策について、基本となる意思決定をすることができる。	必要かつ正確なデータや情報を収集し、進めるべき企業経営や課題解決策について必要性を認識し、考えることができる。	進めるべき企業経営や問題・課題に必要なデータや情報の収集・分析、論理的思考および的確な判断ができない。
	⑤	適切かつ分かりやすく伝えることができるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身につけている。	表現力	他者の意見を聞きながらも、自らの課題解決に向けた提案、取り組みおよび成果について論理的に説明することができる。また、さらなる探求に向けた議論を展開することができる。	他者の意見を聞きながらも、自らの課題解決に向けた提案、取り組みおよび成果について論理的に説明することができる。	他者の意見を聞きながらも、自らの課題解決に向けた提案、取り組みおよび成果について基本的な説明ができる。	自らの課題解決に向けた提案、取り組みおよび成果について説明することが難しい。また、他者と意見交換ができない。
主体性・多様性・協働性	⑥	主体的に問題・課題解決に向け取り組むことができる態度、および多様な人々と協働することができる能力を身につけている。	主体性	実際の企業経営における問題・課題の解決に向けて強い意志や意欲を持ち、主体的に行動することができる。	実際の企業経営における問題・課題の解決に向けて自ら行動することができる。	実際の企業経営における問題・課題の解決について自ら考えることができる。	実際の企業経営における問題・課題に対する関心がないため、主体的に行動することができない。
			多様性	問題・課題に対して、多角的視点から分析し、解決につなげることができる。	問題・課題に対して、多角的視点から分析することができる。	問題・課題に対して、多角的視点から考えることができる。	問題・課題に対して、多角的視点から考えることができない。
			協働性	建学の精神「敬神愛人」や共存共栄の意識を強く抱き、社会や組織のメンバーとの協働の意識をもとに行動することができる。	社会や組織のメンバーとの協働の意識をもとに行動することができる。	社会や組織のメンバーとの協働の意識を持っている。	社会や組織のメンバーとの協働の意識をもとにした行動をすることができない。

【資料11】

経営学部データ経営学科必修科目一覧

必修科目区分	分野	1年次	2年次	3年次	4年次
経営学部 データ経営学科 専門科目 (42単位)	ビジネス価値創造	ビジネス価値創造概論 ビジネス価値創造概論学習	ビジネス価値創造演習 I ビジネス価値創造演習 II 論文作成指導	ビジネス価値創造実践 I	ビジネス価値創造実践 II 卒業論文
	経営	経営学概論 経済学・経済政策 簿記・会計学概論	経営管理論 経営組織論		
	マーケティング	マーケティング概論 流通概論	マーケティング論 I マーケティング論 II		
	経営分析手法	データ経営入門 情報倫理			
全学共通 NGU教養 スタンダード 科目 (14単位)	キリスト教	キリスト教概説1 キリスト教概説2			
	自己理解と自己開発	基礎セミナー			
	数理・AI・データサイエンス教育	情報処理リテラシー			
	言語とコミュニケーション	日本語表現 基礎英語1 基礎英語2 英会話1 英会話2			

【資料12】

選抜方法とアドミッション・ポリシー

◎は、アドミッション・ポリシーと関連性が高い ○は、アドミッション・ポリシーと関連がある		一般選抜				学校推薦型選抜				総合選抜型			
		一般入試		共通テスト プラス入試	共通テスト 利用入試	指定校 推薦入試	一般推薦入試			情報・商業系 資格重視入試	商業系 科目入試	自己推薦 入試	特別奨学生 入試
		42人		5人	12人	27人	32人			3人	3人	5人	6人
		前期(33人)	中期・ 後期(9人)				前期(27人)		後期(5人)				
求める学生像	アドミッション・ポリシー				基礎学力型	小論文型							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の建学の精神に共感し、その建学の精神に沿う豊かな人間性と誠実さを持ち、社会の役に立つことを実行しようとする高い志を持つ者 ・ 現実の経済及び企業経営の実践に対する探究心が旺盛で、進んで真理を追究する意欲と能力がある者 ・ 情報が多様化する社会に興味を持ち、情報を収集・分析・可視化する知識やスキルを修得して、そこから産業及び企業、社会の革新に寄与する思考を身につける意欲がある者 ・ 課題解決に向けた、必要な基礎的知識・論理的思考力・コミュニケーション能力を備える意欲がある者 	【関心・意欲・態度】	本学の建学の精神に共感し、その建学の精神に沿う豊かな人間性と誠実さを持ち、経営学や企業経営を実践することを通して、社会に貢献する高い志を持つ者	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	【知識・理解・技能】	本学部学科において、経営やマーケティング、経営分析手法等を学ぶ上で必要な、高等学校の教育課程における基礎的な学力を有する者	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	【思考力・判断力・表現力】	ビジネスにおいて課題を解決し、価値創造に寄与するための基礎となる、多面的に考察する思考力、適切な判断力、論理的でわかりやすい表現力を有する者	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎

○学校法人名古屋学院大学教員定年規程

(1975 年 2 月 3 日 制定)

- 第 1 条 本大学に在職する専任教員の定年は、本規程に定めるところによる。
- 第 2 条 専任教員の定年は、満 70 才とする。
- 第 3 条 定年に達した教員は、定年に達した日の属する学年の末日限り退職する。
- 第 4 条 大学長たる教授が定年に達したときは、その職務に従事する間は、在職期間を延長することができる。
- 第 5 条 この規程の所管は、総務課とする。
- 第 6 条 この規程の改廃は、常任理事会で行う。
-
- 附則 1 この規程は、昭和 50 年 2 月 28 日から施行する。
- 附則 2 昭和 50 年 3 月 31 日現在で定年に達している教員についての経過措置は別途考慮する。
- 附則 3 この規程は、2019 年 2 月 26 日改正、2019 年 2 月 26 日から施行する。
- 附則 4 この規程は、2020 年 7 月 28 日改正、2020 年 7 月 28 日から施行する。

【資料14】

経営学部時間割（前期）

時 限	配 当 年 次	月	火	水	木	金
1	1	英会話1 曙614、615 【教養】社会学 曙201	情報リテラシー 曙511、512 英会話1 曙614、615、618 ボランティア学 曙202	基礎セミナー 曙608～曙611 【教養】社会学 曙203	基礎セミナー 曙515～曙517 【教養】スポーツ初級a テニスコート	日本語表現 曙613、614 【教養】文化人類学 曙203 【教養】化学 希201
	2	【教養】スポーツ中級a 体育館 【教養】スポーツ中級a テニスコート 簿記B 曙203	実用英語1 曙501 韓国語1 曙605 【教養】スポーツ中級a 体育館 【教養】スポーツ中級a テニスコート 経営管理論 曙101	ドイツ語1 希406 フランス語1 曙617 スペイン語1 曙403 中国語1 曙616 【教養】スポーツ中級a 体育館 コンテンツビジネス論 曙402	【教養】スポーツ中級a 体育館	【教養】スポーツ中級a 体育館 マーケティング論Ⅰ 曙602
	3	マーチャンダイジング論 曙401		アントレプレナーシップ 曙503	サプライチェーンマネジメント 希406	人事データ分析 曙404
	4					
2	1	【教養】社会学 曙201 【教養】スポーツ初級a 体育館 【教養】スポーツ初級a テニスコート まちづくり学 曙101 簿記・会計学概論 曙203	情報リテラシー 曙511、512 【教養】スポーツ初級a 体育館 【教養】スポーツ初級a テニスコート	【教養】日本文学 曙505 【教養】国際政治学 曙202 【教養】スポーツ初級a 体育館 データ経営入門 曙102	キリスト教概説1 曙401 基礎英語1 曙513、514 【教養】教育学 曙504 【教養】スポーツ初級a 体育館	日本語表現 曙614 実用日本語表現法 希402 基礎英語1 曙615～617 【教養】世界史 曙203 【教養】スポーツ初級a 体育館
	2	リテールマーケティング 曙302 eコマース概論 曙401	アカデミック日本語表現法 曙517 TOEIC英語1 曙403 ロジスティクス 曙202	アカデミック日本語表現法 曙513 ドイツ語1 希406 フランス語1 曙617 中国語1 曙615 ソーシャルマーケティング 曙302	聖書学 曙603 【教養】スポーツ中級a テニスコート 金融基礎論 曙203 ブランドマネジメント 曙301	ビジネス価値創造演習Ⅰ 曙302、303、希404
	3	中小企業論 希405	経営史 曙302	国際経営 曙201	リレーションシップマーケティング 曙402	コンピュータ会計 曙405
	4					
3	1	キャリアデザイン1a 曙304 【教養】社会学 曙201 【教養】生物学 曙103 【教養】スポーツ初級a 体育館 【教養】スポーツ初級a テニスコート	/	【教養】文化人類学 曙101 【教養】国際関係論 曙202 ビジネス価値創造概論 曙102	情報リテラシー 曙511、512	【教養】平和学 曙101 流通概論 曙102
	2	課題解決演習 翼304		ドイツ語1 希406 フランス語1 曙617 スペイン語1 曙403	マーケティング戦略演習 曙501 工業簿記 曙402	経営法務 曙401 経営データ分析基礎 曙301
	3	マーケティングインテリジェンス 曙407			財務諸表論 曙304	経営分析手法 希404
	4					

時 限	配 当 年 次	月	火	水	木	金
4	1	キャリアデザイン1a 曙504 【教養】日本史 曙202 【教養】外国文化論 曙302 【教養】心理学 曙602 【教養】生物学 曙103	キリスト教概説1 曙505 【教養】国際関係論 曙201 【教養】経済学 希301 【教養】哲学 希201 【教養】環境学 曙302		【教養】外国文化論 曙402 【教養】統計学 曙103 【教養】教育学 曙502 【教養】スポーツ健康科学 曙101 【教養】スポーツ健康科学 希201 まちづくり演習 曙501 経営学概論 曙202	【教養】世界史 曙101 【教養】地学 希301 【教養】生物学 曙301 まちづくり学 曙102
	2	キャリアデザイン2a 曙301 アカデミック日本語表現法 曙516 情報社会論 希201	情報英語1 曙403 マーケティング論Ⅰ 曙402		経営統計学入門 曙406	リテールマーケティング演習A 希406
	3	プロダクトディベロップメント 曙401	経営データマイニング 曙407			デジタルプロダクトプランニング 希405
	4					
5	1	【教養】日本文学 曙505 【教養】法学 曙203 【教養】法学 曙201 【教養】社会学 希301 【教養】数学 曙103	【教養】世界史 曙103 【教養】政治学 曙102 【教養】国際政治学 曙201 【教養】平和学 翼302 【教養】経済学 曙101 【教養】統計学 希301 【教養】統計学 曙505 【教養】哲学 希201 【教養】環境学 曙302		【教養】陶芸論 曙301 【教養】日本国憲法 曙102 【教養】スポーツ健康科学 曙101 【教養】スポーツ健康科学 希201	【教養】法学 曙101 【教養】化学 曙103 【教養】環境学 希301 まちづくり学 曙102
	2	キャリアデザイン2a 曙401	キリスト教倫理 曙202 消費者行動論 曙304		上級まちづくり演習 曙501	
	3	ビジネス価値創造実践Ⅰ 曙506～509	ビジネス価値創造実践Ⅰ 曙616～曙618		ビジネス価値創造実践Ⅰ 曙604、605、希203	ビジネス価値創造実践Ⅰ 曙514～曙517
	4					
6	1					
	2					
	3					
	4	ビジネス価値創造実践Ⅱ 曙506～509	ビジネス価値創造実践Ⅱ 曙616～曙618		ビジネス価値創造実践Ⅱ 曙604、605、希203	ビジネス価値創造実践Ⅱ 曙514～曙517

1	インターンシップ1・2 曙101 陶芸実習 瀬戸キャンパス
---	----------------------------------

経営学部時間割（後期）

時 限	配 当 年 次	月	火	水	木	金
1	1	英会話2 曙614、615 【教養】国際政治学 曙201	英会話2 曙614、615、618 【教養】スポーツ初級b 体育館	【教養】社会学 希301 eビジネス概論 曙102	【教養】哲学 希201 【教養】スポーツ初級b テニスコート ビジネス価値創造学習 曙302、303	日本語表現 曙613、614 【教養】化学 曙203
	2	【教養】スポーツ中級b 体育館 【教養】スポーツ中級b テニスコート 管理会計 曙203	実用英語2 曙501 韓国語2 曙605 【教養】スポーツ中級b テニスコート 経営組織論 曙101	ドイツ語2 希406 フランス語2 曙617 スペイン語2 曙403 中国語2 曙616 【教養】スポーツ中級b 体育館 マーケティング思考論 曙504	【教養】スポーツ中級b 体育館 経営のためのプログラミング 曙402	【教養】スポーツ中級b 体育館 マーケティング論Ⅱ 曙602
	3		経営戦略論 曙201	リーダーシップ論 曙503		
	4					
2	1	【教養】国際関係論 曙201 【教養】スポーツ初級b 体育館 【教養】スポーツ初級b テニスコート まちづくり演習 曙501 企業論 曙203	【教養】スポーツ初級b 体育館 【教養】スポーツ初級b テニスコート	【教養】スポーツ初級b 体育館 マーケティング概論 曙102	キリスト教概説2 曙401 基礎英語2 曙513、514 【教養】教育学 曙504 【教養】スポーツ初級b テニスコート 【教養】スポーツ初級b 体育館	実用日本語表現法 希402 基礎英語2 曙615～617 【教養】スポーツ初級b 体育館
	2	流通システム論 曙203 ビジネス価値創造演習Ⅱ 曙506～509	アカデミック日本語表現法 曙512 TOEIC英語2 曙403 イノベーションマネジメント 曙504 ビジネス価値創造演習Ⅱ 曙506～509	アカデミック日本語表現法 曙513 ドイツ語2 希406 フランス語2 曙617 中国語2 曙615 国際マーケティング 曙201	経営統計学 曙404 ビジネス価値創造演習Ⅱ 曙508～511	プロダクトプランニング 曙102 ビジネス価値創造演習Ⅱ 曙506～509
	3	財務諸表分析 希406		スタートアップ実践 曙402 インターネットマーケティング 曙303	企業・会計データ分析 曙302	
	4					
3	1	キャリアデザイン1b 曙304 【教養】生物学 曙103 【教養】スポーツ初級b 体育館 【教養】スポーツ初級b テニスコート	/	【教養】日本文学 曙505 【教養】国際関係論 曙101 情報倫理 曙102	発展セミナー 曙614 経営のための基礎数学 曙405	【教養】国際政治学 曙103 経済学・経済政策 曙102
	2	キリスト教倫理 曙101 プロモーション演習 曙303		ドイツ語2 希406 フランス語2 曙617 スペイン語2 希404	論文作成指導 曙304、401	経営データ分析 曙401
	3	経営オペレーションズリサーチ 曙406		意思決定分析 曙406	生産管理論 曙201	マーケティングコミュニケーション 曙304
	4					

時 限	配 当 年 次	月	火	水	木	金
4	1	キャリアデザイン1b 曙504 【教養】日本史 曙201 【教養】外国文化論 曙302 【教養】法学 曙603 【教養】日本国憲法 曙101 【教養】哲学 希201 【教養】心理学 曙602 【教養】生物学 曙103 【教養】環境学 曙303	キリスト教概説2 曙505 【教養】日本文学 曙402		【教養】外国文化論 曙402 【教養】統計学 曙304 【教養】社会学 曙502 【教養】スポーツ健康科学 曙101 【教養】スポーツ健康科学 希201 まちづくり演習 翼304 簿記A 曙202	【教養】世界史 曙602 【教養】文化人類学 曙201 【教養】物理学 希301 【教養】化学 曙301 まちづくり学 曙103
	2	キャリアデザイン2b 曙401 アカデミック日本語表現法 曙516 マーケティングリサーチ 曙402	アカデミック日本語表現法 曙507 情報英語2 曙403 マーケティング論II 曙302	アカデミック日本語表現法 曙517		リテールマーケティング演習B 希406
	3				意思決定論 曙301	データドリブンマーケティング 曙407
	4					
5	1	発展セミナー 曙614 【教養】日本文学 曙505 【教養】文化人類学 曙102 【教養】法学 曙203 【教養】日本国憲法 曙101 【教養】数学 曙103 【教養】哲学 希201 【教養】環境学 曙303	キリスト教史 曙202 【教養】世界史 曙103 【教養】政治学 曙102 【教養】日本国憲法 希301 【教養】経済学 曙101 【教養】統計学 希201		【教養】文化人類学 希301 【教養】陶芸論 曙301 【教養】法学 曙102 【教養】統計学 曙103 【教養】スポーツ健康科学 曙101 【教養】スポーツ健康科学 希201	【教養】文化人類学 曙201 【教養】教育学 曙101 【教養】物理学 希301 【教養】生物学 曙102 【教養】環境学 曙302 まちづくり学 曙103
	2	キャリアデザイン2b 曙401	サービスマネジメント 曙304		上級まちづくり演習 曙506	
	3	ビジネス価値創造実践I 曙506～509	ビジネス価値創造実践I 曙616～曙618		ビジネス価値創造実践I 曙604、605、希203	ビジネス価値創造実践I 曙514～曙517
	4					
6	1		データサイエンスリテラシー 曙101	データサイエンスリテラシー 曙101		
	2					
	3					
	4	ビジネス価値創造実践II 曙506～509	ビジネス価値創造実践II 曙616～曙618		ビジネス価値創造実践II 曙604、605、希203	ビジネス価値創造実践II 曙514～曙517

集 中 講 義	1	ボランティア演習 曙506
		インターンシップ1・2 曙101 【教養】スポーツ初級a 学外 【教養】スポーツ初級b 学外
	2	【教養】スポーツ中級a 学外 【教養】スポーツ中級b 学外